

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和4年12月7日（水）

### 2 確認箇所

3・4号機超高压開閉所建屋、ホールドアップ建屋

### 3 確認項目

3・4号機超高压開閉所建屋及びホールドアップ建屋の雨水排水対策

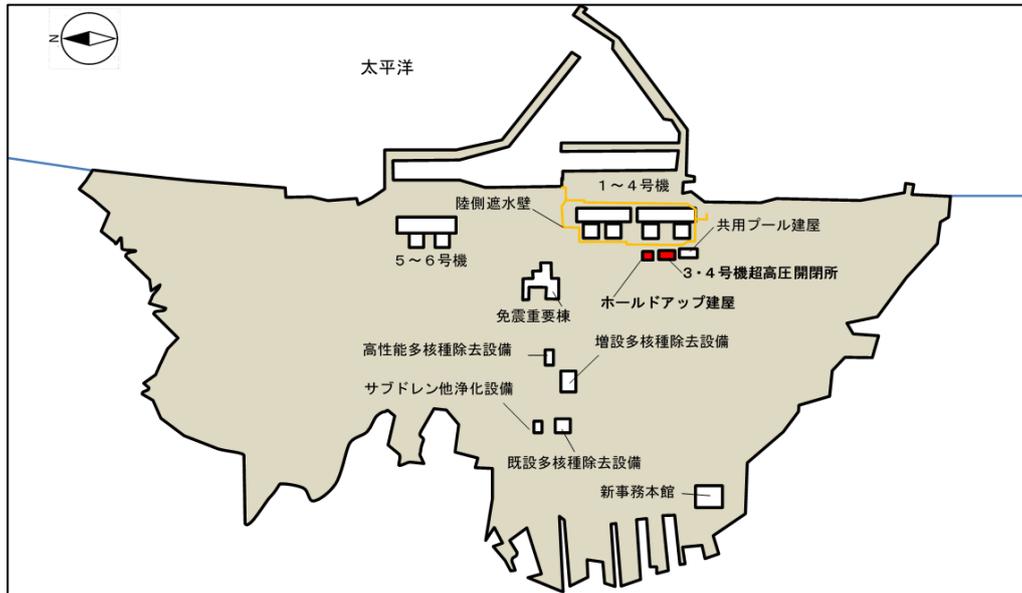
### 4 確認結果の概要

令和3年8月頃から11月頃にかけて、1～4号機建屋周囲に設けられている陸側遮水壁（凍土壁）の一部（K排水路交差付近の測温管150-7S）において、地中温度が0℃を超える状態が継続する事象（令和3年10月28日東京電力公表）が発生した。東京電力では、地中温度の上昇要因として地下水の影響を想定し、地下水の流入を抑制するための試験的な止水として、当該測温管付近の上流側に鋼矢板を設置するとともに、周辺建屋の雨水排水が地下水に影響していることも想定し、当該測温管周辺の共用プール建屋の雨水排水先の変更を行った（令和4年4月6日現地確認）。

この「試験的な止水」と「周辺建屋の雨水排水先の変更」により、昨年のような温度上昇は確認されていないが、東京電力では水平展開として、共用プール建屋と同様に雨水排水設備が陸側遮水壁に面している、3・4号機超高压開閉所建屋及びホールドアップ建屋の雨水排水先を建屋西側に変更することを計画していることから、両建屋の雨水排水設備等の現況を確認した。

（図1）（写真1）

- ・3・4号機超高压開閉所建屋及びホールドアップ建屋の東側の雨水排水管は陸側遮水壁に近接していた。（写真2）
- ・これらの雨水排水管からの排水は新たに集水配管を設置し、フェーシング面の勾配を利用して建屋西側の側溝に導水されるよう変更される計画であり、建屋西側では、地盤面のフェーシング作業が進められていた。また、建屋西側には新たな側溝が整備されていた。（写真3）（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



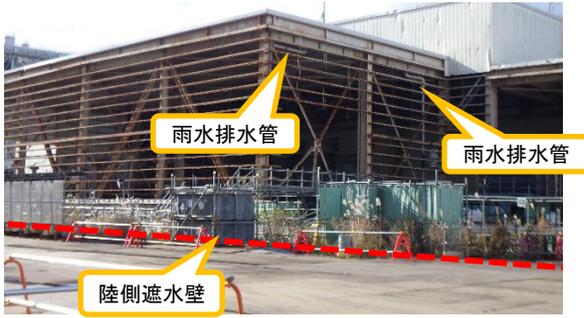
(写真1-1)

3・4号機超高压開閉所建屋の概観  
(北東側から撮影)



(写真1-2)

ホールドアップ建屋の概観  
(南東側から撮影)



(写真 2 - 1)  
 3・4号機超高压開閉所建屋の雨水排水  
 管の例①（北東側から撮影）



(写真 2 - 2)  
 3・4号機超高压開閉所建屋の雨水  
 排水管の例②（建屋内西側から撮  
 影）



(写真 2 - 3)  
 ホールドアップ建屋の雨水排水管の  
 例（北東側から撮影）



(写真 3 - 1)  
 3・4号機超高压開閉所建屋西側の  
 フェーシングの状況（南側から撮  
 影）



(写真3-2)  
3・4号機超高圧開閉所建屋北西側のフェーシング作業の状況  
(北西側から撮影)



(写真3-3)  
ホールドアップ建屋西側のフェーシングの状況 (南側から撮影)



(写真4-1)  
ホールドアップ建屋西側の側溝整備状況 (北側から撮影)



(写真4-2)  
3・4号機超高圧開閉所建屋西側の側溝整備状況 (南側から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。